

Panasonic
i-PRO ネットワークカメラ対応レコーダー WJ-NX300
V5.10 版 リリースノート

目次

[変更履歴](#)
[ダウンロードファイルについて](#)

変更履歴

Ver V5.10 (2022.6.28)

<機能追加>

- 新カメラに対応 (PTZ カメラ)
 - ・WV-B61300-ZY, WV-B61301-Z1/Z2, WV-B65300-ZY, WV-B65301-Z1, WV-B65302-Z2, WV-S61301-Z2, WV-S61302-Z4, WV-S65340-Z2/Z4
- 新カメラに対応 (i-PRO カメラ)
 - ・WV-B71300-F3, WV-S1135VUX, WV-S1536LUX/LBUX, WV-S2135UX, WV-S2136LBUX, WV-S3131LUX, WV-S4151UX, WV-S7130UX/WUX, WV-S8543LUX, WV-S8544LUX, WV-S8573LUX, WV-S8574LUX, WV-U1130AUX, WV-U1132AUX, WV-U1532LAUX, WV-U2130LAUX, WV-U2132LAUX

<改善項目>

- HDD 運用モードが RAID5/RAID6 で、稼働時間警告機能を使用する場合に、本体および増設ユニットのディスクスロット 1 のハードディスクに対してしか稼働時間警告を検出しない現象の改善。
- V5.00 にて改善対応を行った、スマートコーディング (GOP 制御) 設定が On で、FHD を超える解像度の録画データを Web ブラウザで 4 画面再生を行った場合、しばらく静止画 (数秒～60 秒程度) になる場合がある現象の改善。
<補足(2022/4/13)> 本事象については継続して改善を行う予定。に対する継続改善の対応。
- 本機が V5.00、V5.01 で、2021 年 12 月後半以降にリリースされたカメラを MJPEG 録画するとき、本機の認証方式が「Digest or Basic」、カメラの認証方式が「Basic」の場合に本機が再起動する現象の改善。
(カメラと本機とのネットワークを切断するまで再起動を繰り返す)

Ver V5.01 (2022.4.13)

<改善項目>

- WJ(DG)-NV200/NV250/NV300 レコーダーへ Internet Explorer でアクセスしたことのある PC で、V5.00 の本機へアクセスを行った場合、NV200/NV250/NV300 の録画映像 (H.264) を、ブラウザもしくは ND Viewer で再生した際に黒画になる現象の改善。

Ver V5.00 (2022.4.1)

<機能追加>

- 新カメラに対応 (AI ネットワークカメラ S シリーズ)
 - ・WV-S15500-V3 シリーズ, WV-S15700-V2 シリーズ, WV-S22500-V3 シリーズ, WV-S25500-V3 シリーズ, WV-S25700-V2 シリーズ
- Synectics 社製カメラを ONVIF 接続可能とした。

<改善項目>

- 社名表記を「パナソニック i-PRO センシングソリューションズ株式会社 (Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd.)」から「i-PRO 株式会社 (i-PRO Co., Ltd.)」に変更。
- FTP 機能を廃止。
 - ・WV-ASM300 による n3r ファイルのダウンロードが標準方式で不可になります。V1.70 で機能追加した n3r ファ

- イルダウンロード方式を「拡張方式」にすることで可能です。●2022/5/17：記載内容変更
- ・ WV-ASM300 V4.00 より前のバージョンでタイムライン機能が使用できなくなります。V4.00 以降へ更新することで可能になります。●2022/5/17：追記
 - ・ iCT V1.40 より前のバージョンで、ファイルのダウンロードとアップロードができなくなります。V1.40 以降へ更新することで可能になります。●2022/5/17：追記
 - ・ WV-ASM300 に対して、カメラの機能拡張ソフトウェア試用期間満了を通知する際、対象のソフトウェア名も含めるよう改善。
 - ・ 2021 年 12 月後半以降にリリースされたカメラとの MJPEG 通信ができなくなる件に対する改善。
 - ・ スマートコーディング(GOP 制御)設定が On で、FHD を超える解像度の録画データを Web ブラウザで 4 画面再生を行った場合、しばらく静止画（数秒～60 秒程度）になる場合がある現象の改善。
＜補足(2022/4/13)＞本事象については継続して改善を行う予定。
 - ・ イベント種別が「機能拡張ソフトウェアアラーム」の録画データを HDD ビューワーでリスト表示すると Evt 欄が空欄で表示される現象の改善。
 - ・ ファームウェアバージョンが V4.60 で、AI プライバシーガード録画を設定した場合、ライブ用ストリーム(Stream3/4)の設定値が変わらない現象の改善。

Ver V4.60 (2021.11.24)

＜機能追加＞

- ・ 新カメラに対応(AI 全方位)
 - ・ WV-S4156J, WV-S4176J, WV-S4556LJ, WV-S4576LJ
- ・ カメラの機能拡張ソフトウェア試用期間満了通知に対応。

＜改善項目＞

- ・ レコーダーとカメラ間 および レコーダーと PC 間の HTTPS 接続において、TLS 1.3 に対応。
- ・ 本体設定メニューにて、顔照合設定の変更(Off から On)と、HTTP ポート番号の変更を、同時に行ってから設定を保存した時、顔照合が動作しない現象の改善。
- ・ HDD ビューワーにて、非録音期間(音声が無い映像のみが録画されている期間)を 1 時間以上指定してファイル書き出しを行った場合、1 つのファイルを書き出した時点で終了してしまう現象の改善。

Ver V4.50 (2021.8.26)

＜機能追加＞

- ・ 新カメラに対応(エントリーモデル U シリーズ)
 - ・ WV-U1113AJ, WV-U1114AJ, WV-U1133AJ, WV-U1134AJ, WV-U1533AJ, WV-U2114AJ, WV-U2134AJ
- ・ 機能拡張ソフトウェアアラーム 1～4 のメッセージ ID を 000～255 に変更可能とした。
- ・ 繁体中国語表示に対応した。
- ・ 新カメラに対応(AI ネットワークカメラ S シリーズ)
 - ・ WV-S1536LTNJ, WV-S2536LTNJ ●2021/11/24 追記

＜改善項目＞

- ・ H.265/H.264 の 1ips で録画したデータを、Web ブラウザから MP4 でダウンロードを行うと、ごく稀に本機が再起動し、MP4 データのダウンロードが行えない場合がある現象の改善。(同一の MP4 データを再度ダウンロードした場合は同一現象となる。※データを変更してダウンロードを行うと現象は発生しなくなる。)

Ver V4.40 (2021.7.7)

＜機能追加＞

- ・ 新カメラに対応(i-PRO S シリーズ)
 - ・ WV-S1115V, WV-S1116, WV-S1116D, WV-S1135V, WV-S1136J, WV-S1515L, WV-S1516LN, WV-S1516LDN, WV-S1536LTNJ, WV-S2115, WV-S2116L, WV-S2116LD, WV-S2135, WV-S2136LJ, WV-S2536LTNJ
 - ※カメラは 2021/9 発売予定。
- ・ 映像監視ソフトウェア WV-ASM300 で、AI 混雑検知アプリケーション WV-XAE207W の検知枠が表示できるよう改善。
- ・ カメラに搭載されている SD カードの録画異常時エラー通知へ対応。

＜改善項目＞

- RAID1 の 1DOWN 時における WV-ASM300 のログ表示内容を正しい表示内容に改善。
- Ver4.30 以降にて運用開始後、間もない時期において、稀に再起動が発生する場合がある現象の改善。

Ver V4.31 (2021.5.6)

<改善項目>

- 電源周波数が 50Hz の地域で使用している場合のみ、設置後まもなく、録画ができなくなる(HDD のステータスが「切り離し」や「再生専用」の状態になる)場合がある現象の改善。(2021/1～2021/3 生産品の場合)

Ver V4.30 (2021.3.23)

<機能追加>

- 新カメラに対応。(マルチセンサーカメラ)
・WV-S8531NJ、WV-X8571NJ
- 新カメラに対応(ドーム/ハウジング一体型カメラ)
・WV-S1552LNJ、WV-S1572LNJ、WV-S2552LNJ、WV-S2572LNJ(※カメラは 2021/6 発売予定)
- カメラから通知される ONVIF event の”MotionAlarm”で開始したイベント録画において、カメラから終了通知が来ない限り、イベント録画時間で設定した時間分延長する機能を追加。

<改善項目>

- 電子証明書を Digicert 社から GlobalSign 社へ変更。
- RAID6 2down 時、HDD 2 本を同時交換する際、「老番⇒若番」の順で交換し RAID 復旧開始した場合、1 本目の HDD の RAID 復旧中に電源 OFF/ON が発生すると、2 本目の HDD の RAID 復旧が開始しない現象を改善。
- ONVIF 接続のカメラが多数接続されていると、本体が再起動する場合がある現象の改善。
- Internet Explorer の互換表示設定にて、本機のアドレスを設定した場合、解除キー番号の登録ボタンをクリックしても、解除キー番号が登録できない現象の改善。

Ver V4.20 (2020.12.23)

<機能追加>

- ブラウザの設定画面に「ルート証明書取得」を追加し、証明書のダウンロード機能を追加。
- 録画する HDD (RAID5/RAID6 モードの場合はユニット単位)の順番を任意に変更する機能を追加。
- スタートモニターに設定できる画面分割パターンに関する以下の機能を追加。
・6分割画面(全画面)を追加。
- SNMPv1/v2 使用時におけるサブネット外からのアクセスを許可する設定を追加。

<改善項目>

- 解像度が「4KUHD」相当で、リフレッシュ間隔が 3 秒以上の録画データをコマ送りすると、ライブ画像に戻る場合がある現象の改善。

Ver V4.10 (2020.9.17)

<機能追加>

- 新カメラに対応。(AI ネットワークカメラ)
・WV-X1571LNJ、WV-X2571LNJ
- レコーダー-PC 間の HTTPS 通信時に TLS のバージョン 1.1 の使用可否を設定できるようにした。(バージョン 1.0 は使用不可とする。)
- ONVIF 接続のカメラで設定可能な JPEG 解像度に、HVGAW/HD/FHD を追加した。

<改善項目>

- ブラウザ接続の認証方式を標準的な方式に変更した。(ログイン認証画面の変更)

- サブモニターの電源をリモコンまたは電源スイッチで OFF にした場合、次回モニターの電源を ON にしても映像出力しない（モニター出力信号なし）状態となり、レコーダーの電源 OFF-ON にて復旧する現象の改善。
- V3.20 以前で録画したデータが残っている状態で、V4.00 以降にバージョンアップした場合、V3.20 以前で録画したデータのタイムライン色が正しく表示されない現象の改善。
- Web ブラウザーで MP4 形式の録画データをダウンロード中に、PC 側の内部処理に異常が発生した場合、ダウンロードができなくなり、その後レコーダーが再起動し、システム再起動 (CPU) のログが残る場合がある現象の改善。

Ver V4.00 (202.6.25)

<機能追加>

- 新カメラに対応。
・WV-X1534LNJ, WV-X2232LJ, WV-X2533LNJ
- AI ネットワークカメラ向け機能拡張ソフトウェア (AI 動体検知アプリケーション「WV-XAE200W」) に対応。
- AI ネットワークカメラ向け機能拡張ソフトウェア (AI プライバシーガードアプリケーション「WV-XAE201W」) に対応。

<改善項目>

- 起動時のデータ読み出し異常など、設定データの耐性強化を図った。
- SNMPv3 のパスワード設定において、本機ของผู้管理のパスワードと同じルールを適用した。
- 録画期間グループを設定しているときに、一方のグループが正常録画、もう一方のグループの全カメラが接続エラーとなる状態が約 1 時間以上継続すると、録画異常 (RCA) の警告を出して再起動する件の対応。

Ver V3.20 (2020.4.22)

<機能追加>

- 新カメラに対応。
・WV-U1113J, WV-U1114J, WV-U1133J, WV-U1134J, WV-U1533J, WV-U2114J, WV-U2134J
- アスペクト比が 16:9(9:16) の JPEG 解像度に対応。
・対象機種: WV-U1113J, WV-U1114J, WV-U1133J, WV-U1134J, WV-U1533J, WV-U2114J, WV-U2134J

<改善項目>

- メインモニターで全方位ネットワークカメラの魚眼画像表示中に、カメラコントロールパネルで PTZ 操作を行うと、カメラの画角が変化してしまう現象に対して改善。
- 1 ユニットあたりの HDD 台数が 6 台以上の RAID5、RAID6 運用における HDD スタンバイ制御モードでの動作中に、スタンバイ状態の HDD (ユニット) に対し WV-ASM300 から再生操作を行うと、数分間録画停止状態となる、または、その後本体が再起動に至る場合がある現象の改善。
(ブラウザや本体からの再生操作では発生しない)

Ver V3.11 (2020.2.26)

<改善項目>

- RAID 運用時、HDD が特異な故障状態(単体で起動できない等)で 1 ダウンした後に以下の現象が発生する場合があります改善。
・録画異常が連続的に発生する現象。
・液晶温度表示が異常温度(0℃等)に表示される現象。
・1 ダウンした HDD の交換後、その HDD を認識しない現象。
・再生不可・タイムライン表示が行われなくなる現象。
- RAID 運用時、応答が遅く録画動作に影響がでる状態の HDD がダウンされないことがある現象の改善。
- RAID ユニットが稀に正常動作せず、HDD SKIP(HDD 書き込み先変更)してしまう現象の改善。
- 特異な故障状態(単体で起動できない等)の HDD が挿入された状態で本機の電源を起動すると、全 HDD が切り離される場合があります改善。

Ver V3.10 (2019.12.19)

<改善項目>

- Internet Explorer 以外のブラウザに一部対応。([詳細はこちら](#))
- SNMPv3 に対応。
- 録画用のストリームに対する通信エラー検出に加え、HDMI モニターライブ表示用のストリーム2について通信エラー検出を追加。
- RAID 運用時にダウンした HDD 番号を障害ログに表示、メール本文に追加。
- サムネイルサーチについて以下に対応。
 - ・サムネイルサーチの表示間隔設定に 1 分と 10 分を追加。
 - ・サムネイル画像を選択すると開始日時(始点)欄にそのサムネイルの日時を自動反映する。
- カメラとの接続から録画を開始するまでの動作を改善。
- HTTPS&インターネットモードで運用できるカメラ台数を 4 台から 32 台に拡張。
- HTTPS&RTP で運用時に通信エラーになるカメラが多数存在する場合、通信可能なカメラもエラーと扱う場合があり、正常に通信を行えるよう改善。
- RAID 機能の信頼性を向上。(HDD とのデータ転送制御処理を改善)
- SNMP に HDD のシステムとしての最古・最新日時情報を追加。
- HDD スキップ発生時のメール通知と独自通知を追加。
- 特定のカメラについて、ONVIF(JPEG)接続時に画像がブラウザで正しく表示されない現象の改善。
- 録画していない時に前面パネルの録画 LED が消灯しない場合がある現象の改善。

Ver V3.00 (2019.6.28)

<機能追加>

- 新カメラに対応
 - ・WV-S1570LNJ/WV-S2570LNJ/WV-S6532LNJ/WV-X6533LNJ
- 本体設定メニューで以下の機能を追加
 - ・カメラの VMD エリアを設定する機能
 - ・カメラのスケジュールを設定する機能
 - ・カメラのセルフリターンを設定する機能
- システム構成により最適な運用が可能となるようカメラのストリーム 2 の使用有無を選択可能な機能を追加。
- 本体モニター全画面表示の操作パネルでスケジュール録画においてカメラ毎の録画状態がわかるように機能を追加。
- データ自動消去が Off 以外に設定されている場合、その設定日数を推定録画日数表示に併記する機能を追加。

<改善項目>

- 異常な HDD の挙動が発生した場合、他のユニットへの動作へ影響を与えぬよう耐性向上。
- RAID6 を使用中に 2 ダウン中の HDD がある場合、以下の現象について改善
 - ・電源を Off-On すると、2 ダウン中の RAID6 ユニットの切り離され、本ユニットへの録画/再生ができなくなる
構成：レコーダー本体 HDD 4 本 または 増設ユニット HDD 4 本
2 ダウンの組み合わせ：HDD1、HDD2
 - ・隣り合う 2 つの HDD がダウン中の場合、再生できない期間がある
構成：レコーダー本体 HDD 4 本 または 増設ユニット HDD 4 本
2 ダウンの組み合わせ：・HDD1、HDD2 ・HDD2、HDD3 ・HDD3、HDD4 ・HDD4、HDD1
- グループ録画の録画期間パラメータに、31 日/62 日/92 日/123 日/153 日 を追加。
- マルチセンサーカメラ (WV-X8570N/S8530N) で非表示にした日時が再度表示されてしまう現象の改善。
- NX ビューワーで 100 件を上回る数のレコード (イベント数) が格納された n3r ファイルを再生した場合、“ファイルの読み込み処理でエラーが発生”と表示され再生できない現象の改善。
- Panasonic Security Viewer (スマートフォンアプリ) のモバイル再生で稀にデータエラーが発生する現象の改善。
- iOS 向け Panasonic Security Viewer (スマートフォンアプリ) で 2048kbps/動き優先設定時のモバイル再生について、録画データが 15ips 以下の時、高速再生になる現象の改善。
- EXTREME 全方位カメラ (WV-X4571L/X4171L/S4550L/S4150) 撮像モードがレコーダーの任意の設定変更により天井設置に戻ってしまう現象の改善。
- 設定項目「HDMI 出力を以下の信号形式に固定する」の初期選択値を 4K から 1080p に変更。
- 独自通知先の受信機器が通知を受信できない状態にある場合、受信機器の起動後、稀に WJ-NX400K が再起動する場合がある現象の改善。
- 顔照合設定が Off に設定されているカメラ番号の録画画像に対しても顔画像の登録ができるように改善。

Ver V2.50 (2019.2.28)

<機能追加>

- 機器後面端子のテスト出力機能追加。
- 特定のカメラにおいて、本機と PC 間のセキュリティの接続方法が“HTTPS”の場合でも、ビジネスインテリジェンス機能が使用できるよう変更。
※使用されるカメラのファームウェアバージョンについては readme.txt を参照いただき、適用をお願いします。

<改善項目>

- ブラウザーで独自形式 (n3r) の録画データダウンロード時に、ファイルサイズが 2GB を越えても自動で分割して、指定された期間すべての録画データをダウンロードできるように改善。
- カメラのブラウザーで直接カメラの設定を変更した場合、RTP 接続時は通信エラーが発生しないが、RTSP 接続時では通信エラーになり直後に復帰する場合がある件について改善。
- 本体設定メニューのカメラ入れ換え画面で、表示するカメラの台数と設定によって画面表示が崩れてしまう場合がある件について改善。
- NTP の脆弱性に対する修正。
- Internet Explorer の設定で、ActiveX がインストールできない場合がある件について改善。
- メインモニターで魚眼補正表示中に、サブモニターのシームレスシーケンスでわずかに出画が遅れる場合がある件について改善。
- 『モニターに 1 画面表示する時のライブ画像をストリーム 2 で表示する』の設定を有効にしているとき、全方位カメラを多画面から魚眼補正状態の 1 画面に切り換えると、画面が切り換わるまで時間がかかる場合がある件について改善。
- 電源 Off/On 後に高速再生などの特殊再生を実施すると、魚眼補正位置が変わってしまう場合がある件について改善。

Ver V2.40 (2018.10.31)

<機能追加>

- 新カメラに対応
・WV-S3110J/WV-S3130J/WV-S3510J/WV-S3530J
- レコーダーの管理者・ユーザー登録およびカメラのパスワード設定について、パスワードの使用必須文字種を 3 種類以上に変更。
- ネットワーク送受信量測定機能を追加。
- HDD 残容量表示機能と HDD 残容量通知機能を追加。
- 緊急録音機能を追加。
- ダイナミック DNS Update 機能を追加。
- メインモニター全画面表示でカメラ画像のアスペクト比を維持して表示するための設定を追加。
- ビジネスインテリジェンス機能に高画質モードを追加。

<改善項目>

- コマンドアラーム No. 65~No. 128 で連動動作が行われない場合がある件について修正を行った。
- 高解像度のカメラ 2 台にて 1 画シーケンスする場合、切り換わり直後の画面がスムーズに表示されるよう改善を行った。
- 設定>録画イベント>イベント設定のブザー鳴動時間を「Rec.」に設定してイベント録画を開始した場合、録画が終了してもブザーが鳴りつづける場合がある件について修正を行った。
- ~~瞬時停電発生後に各種ログの保存が動作しない場合がある件について修正を行った。~~
- 落雷等の外的要因により、レコーダー本体がリブートに至らない瞬時電源電圧低下（瞬低）発生後に、以下の動作ができなくなる場合がある件について改善を行った。
 - ・アラーム履歴/障害履歴/表示更新
 - ・カメラアラーム受信
 - ・コマンドアラーム受信
 - ・イベント録画
 - ・PTZ 制御
 - ・映像監視ソフトウェア（WV-ASM300 など）への障害通知
 - ・GUI 操作（ライブ切替/再生/設定）
 - ・ブラウザ、映像監視ソフトウェア（WV-ASM300 など）での再生
 （2019 年 5 月 30 日修正）

Ver V2.30 (2018.6.29)

<機能追加>

- 新カメラに対応
・WV-S8530N/WV-X8570N
・WV-S1550LNJ/WV-S2550LNJ（2018 年 7 月 3 日追記）

- カメラパーティショニング機能追加 ※ユーザーごとにカメラの表示/操作権限を割り当てられるようにする。
- 録画を停止せずに、追加した HDD をフォーマットする機能の追加。
- 録画を停止せずに、HDD を取り外す機能の追加。
- HDD の取り外し操作に HDD のパスワード確認を追加。
- ウェブブラウザのアラームメッセージ(ポップアップ)を一時的に停止する機能を追加。
- WJ-GXE500 接続時の認証方式(Digest 認証)を選択できるように機能を追加。

<改善項目>

- HDD や増設ユニット追加時のステータス表示を「HDD 自動フォーマット中」から「HDD 認識中」に変更を行った。
- カメラがすでに登録済みの状態でカメラ検出の[新規検出]ボタンをクリックすると、登録済みの設定がクリアされる旨のダイアログを表示するように変更を行った。
- NTP の脆弱性に対する修正を行った。

Ver V2.21 (2018.5.25)

<改善項目>

- RAID 復旧は正しく終了するが、稀に RAID 復旧のログや交換 HDD のアワーマーターが表示しない場合がある件について修正を行った。
- 高スペック PC でのブラウザ接続時、ブラウザ 4 画面表示切換を行うと、ライブ映像が稀に混在表示もしくは黒画になる場合がある件について修正を行った。
- NX Viewer で N3R ファイルを再生すると稀に Viewer が終了してしまうことがある件について修正を行った。

Ver V2.20 (2018.3.27)

<機能追加>

- 新カメラに対応
・WV-X4171/WV-X4571L
- カメラ接続時の認証方式を選択できるように機能追加。
- スタティックルート機能追加。
- オンラインユーザー情報表示追加。

<改善項目>

- 顔照合機能の顔登録時に、枠ずれを手動で補正（移動）できるように改善を行った。
- i-PRO EXTREME カメラの暗部補正と逆光補正設定について改善を行った。
- カメラ通信エラー復帰後も、エラー発生前の魚眼補正位置を維持するように改善を行った。
- WV-ASM300 との接続で、ライブ配信についてカメラ切替え時にひとつの表示エリアに2つのカメラ映像が交互に表示される件について修正を行った。
- カメラで独自アラーム通知の「アラーム拡張情報付加」を On にすると、WV-ASM300 でアラームが検出されなくなる件について修正を行った。
- ライブ画の画面分割切り替え中に、システム再起動が発生する件について修正を行った。
- WV-ASM300 のライブシーケンスにおいて、“動画配信方式誤り”のエラーとなる件について修正を行った。(2018 年 4 月追記)

Ver V2.02 (2018.3.22)

<改善項目>

- HDD 制御について、ノイズ耐性及び復旧処理動作に対する改善を行った。

Ver V2.01 (2018.2.22)

<改善項目>

- WV-S4150/WV-S4550L を以下の録画設定で使用すると、カメラにビットレートが反映されず、録画期間が短くなる件について修正を行った。
 - ・圧縮方式：H. 265 (1)
 - ・スマートコーディング (GOP 制御)：On (Advanced)
 - ・解像度：5M (2192x2192)
 - ・画質/フレームレート：FQ/1ips または NQ/1ips または NQ/3ips または NQ/5ips

Ver V2.00 (2018.2.22)

- 初版

ダウンロードファイルについて

NX300_v***J.zip は WJ-NX300 のファームウェアです。
本ファイルは zip 形式の圧縮ファイルになっています。
ダウンロード後、ファイルをダブルクリックし解凍してください。

解凍後は以下のファイルで構成されています。

・NX300.img ・readme.txt

※バージョンアップについては取扱説明書「操作・設定編」の「ソフトウェアの更新を行なう」の項を参照願います。